

令和 6 年 度

2 年次教員フォローアップ研修

研修の手引

（ 特別支援学校用 ）

福島県教育委員会

目 次

I	福島県教育委員会 2 年次教員フォローアップ研修 実施要項	・ ・ ・ ・ ・ 1
II	特別支援学校 2 年次教員フォローアップ研修 研修概要	・ ・ ・ ・ ・ 3
	【表 1】特別支援学校 2 年次教員フォローアップ研修の流れ	
	【表 2】特別支援学校 2 年次教員フォローアップ研修提出書類一覧	・ ・ ・ ・ ・ 5
III	特別支援学校 2 年次教員フォローアップ研修 各種様式	・ ・ ・ ・ ・ 6
	(様式 1) 令和 6 年度特別支援学校 2 年次教員フォローアップ研修 研修計画書	
	(様式 2) 令和 6 年度特別支援学校 2 年次教員フォローアップ研修 研修報告書	
	(様式 3) 令和 6 年度課題研究計画書	
	(様式 4) 令和 6 年度課題研究報告書	

※ 各種様式は、福島県特別支援教育センターWeb サイトに掲載されているので、ダウンロードして提出書類を作成すること。

I 福島県教育委員会 2 年次教員フォローアップ研修 実施要項

福島県教育委員会

1 目 的

2 年次教員フォローアップ研修は、初任者研修を修了した教諭に対して、福島県公立学校教職員現職教育計画に基づき、その後 1 年間の研修を実施し、初年度に培った基礎的な力を、日々の教育実践に生きる確かな資質や能力へと高めることを目的とする。

2 基本方針

本県における課題と教師に求められる資質や能力を踏まえ、2 年次教員フォローアップ研修の対象となる教員（以下「研修対象教員」という。）一人一人の専門性の向上や得意分野を伸ばすなど、研修者のニーズに応じた実効ある研修を実施する。

3 対 象

(1) 研修対象教員は、次のとおりとする。

- ① 福島県公立学校の教員で、初任者研修を修了し、新規採用後 1 年を経過した者
- ② 前年度までの該当者で、未受講の者

4 研修内容

研修対象教員は、校内における研修を 30 時間以上行い、校外における研修を 3 日間受ける。

(1) 校内研修

- ① 服務と勤務等、教員の資質向上にかかる研修（1 時間以上）
- ② 計画的・継続的自主研修「課題研究」（24 時間以上）
- ③ 指導助言が得られる研究授業（年間 1 回以上）等研修（5 時間以上）

(2) 校外研修

- ① 企業等体験研修、社会奉仕等体験研修（2 日）
勤労にかかわる体験等を通して、資質の向上につながる研修
- ② 教科等指導研修（1 日）
授業の改善及び指導力の向上を目指した実践的研修等

5 実施方法

- (1) 校長は、事前に個々の研修対象教員と協議し、年間の研修計画及び課題研究計画を作成する。
- (2) 校長が作成した個々の研修対象教員の研修計画及び課題研究計画は、市町村立小・中・特別支援学校においては市町村教育委員会に、県立学校においては県教育委員会に提出する。
- (3) 当該教育委員会は、校長より提出された研修計画及び課題研究計画について内容等の確認を行い、必要があれば調整等を行う。
- (4) 校長は、研修終了時に、研修報告書及び課題研究報告書を、当該教育委員会に提出する。
- (5) 校長は、(4)により報告した結果を以後の研修に反映させ、研修対象教員の継続的・発展的な指導力向上に努める。

6 指導体制

- (1) 校長、副校長及び教頭は、研修対象教員の研修実施に当たり、適宜適切な指導及び助言を行う。
- (2) 当該教育委員会は、校内研修等の実施に当たり、必要に応じて指導主事、管理主事及び社会教育主事等を派遣するなど研修の円滑な実施を図るとともに、適切な指導及び助言を行う。

7 校内体制

- (1) 校長は、研修対象教員が校外研修等を受けるに当たり、授業等に支障が生じないよう配慮する。
- (2) 校長は、研修の実施に当たり、学校の協力体制を確立する。

8 提出書類

校長は、研修を実施するに当たり、以下の書類を当該教育委員会に提出するものとする。

- (1) 研修実施前
 - ① 研修計画書
 - ② 課題研究計画書
- (2) 研修終了後
 - ① 研修報告書
 - ② 課題研究報告書

9 補 則

この要項の実施に関して必要な事項は別に定める。

附 則

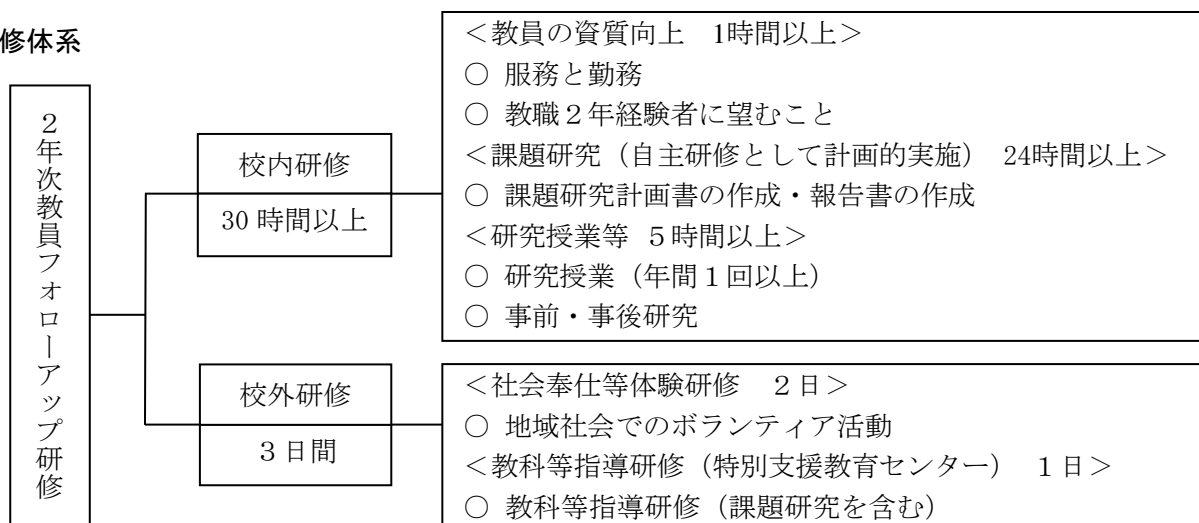
この要項は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

平成30年 1 月 30 日 一部改正 同年 4 月 1 日から施行

Ⅱ 特別支援学校２年次教員フォローアップ研修 研修概要

1 研修体系



2 研修の目的

初任者研修を修了した教諭に対して、福島県公立学校教職員現職教育計画に基づき、その後1年間の研修を実施し、初年度に培った基礎的な力を、日々の教育実践に生きる確かな資質や能力へと高めることを目的とする。

特に特別支援教育センターの研修においては、教科等指導研修とし、授業研究などの実践的研修を通して教科等の指導力向上を図る。

3 研修の内容等

(1) 校内研修・・・年間 30 時間以上、勤務校で計画し実施する研修

	研修名等	時 数	内 容 例
①	教員の資質向上	1 時間以上	○ 服務と勤務 ○ 教職2年経験者に望むこと 等
②	課題研究 （自主研修）	24 時間以上	○ 課題研究の構想 ○ 課題研究計画書の作成 ○ 課題研究報告書の作成 等
③	研究授業 （年間1回以上）	5 時間以上	○ 研究授業 ○ 事前・事後研究 等

(2) 校外研修・・・社会奉仕等体験研修（2日）、教科等指導研修（1日）

	内 容 例
2 日	<社会奉仕等体験研修> 長期休業期間中【2日】 ※ 各学校の計画による。 ○ 地域社会でのボランティア活動 等
1 日	<教科等指導研修> 特別支援教育センター【1日】 ○ 教科等指導研修（課題研究を含む）

4 研修計画書・研修報告書及び課題研究計画書・課題研究報告書の提出について

※研修の流れ、期日等は【表1】【表2】を参照

(1) 研修計画書及び課題研究計画書の提出について

研修対象教員が勤務する学校の校長は、「研修計画書（様式1）」及び「課題研究計画書（様式3）」の原本を特別支援教育センターに提出する。

(2) 研修報告書及び課題研究報告書の提出について

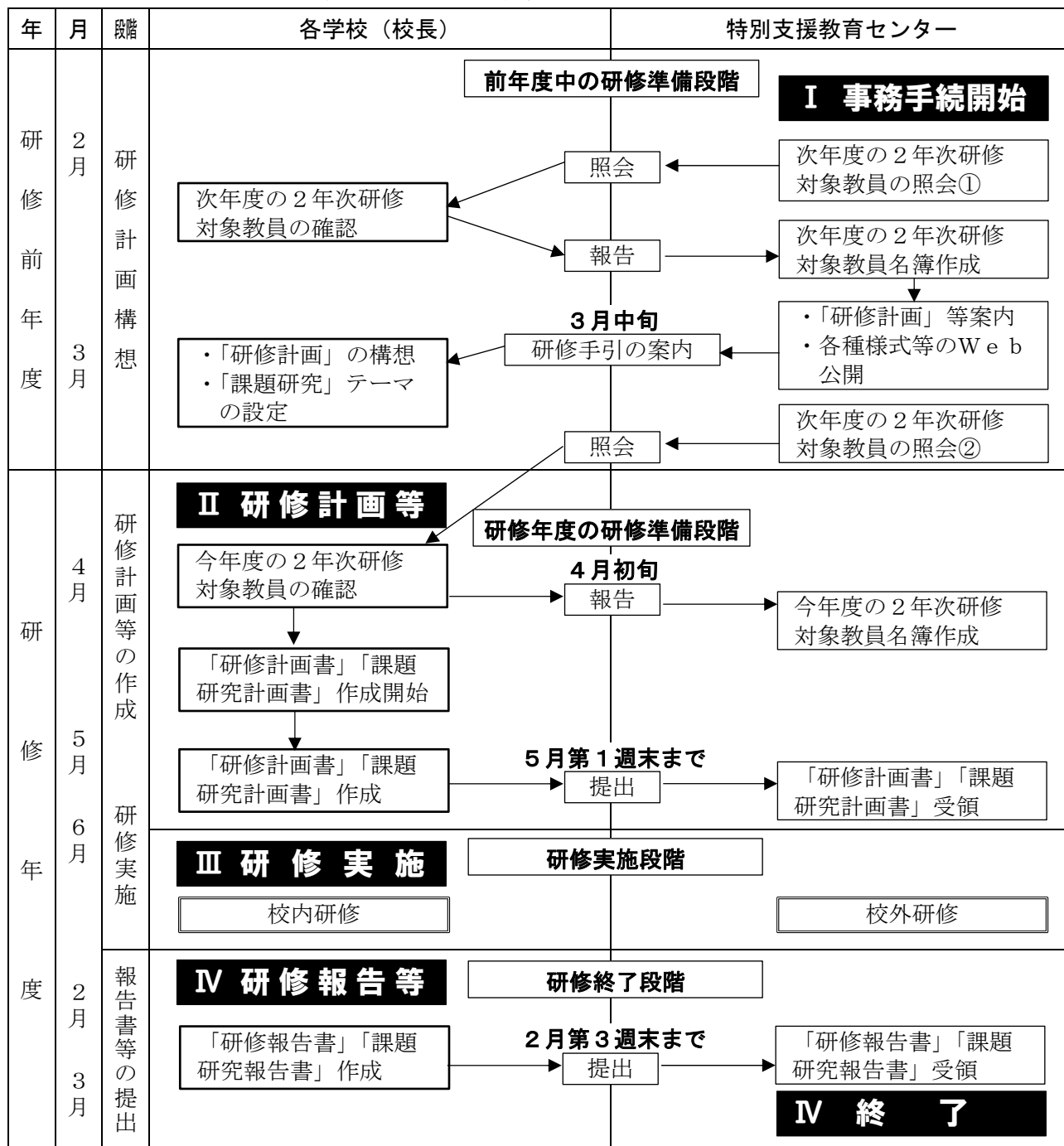
研修対象教員が勤務する学校の校長は、「研修報告書（様式2）」及び「課題研究報告書（様式4）」の原本を特別支援教育センターに提出する。

5 研修の留意点

- (1) 各種計画書及び報告書の作成に当たっては、所定の様式により、実施期日、実施内容について具体的に記述する。
- (2) やむを得ない事情により当該年度に2年次教員フォローアップ研修を受けられない場合は、特別支援教育センターに必ず報告する。その場合、該当者は次年度に受講する。
また、未受講研修がある場合は、次年度以降に改めて作成した計画書を提出した上で研修を実施し、その終了をもって2年次教員フォローアップ研修が完了したことになる。不明な点については、必ず特別支援教育センターに問い合わせる。
- (3) 研修対象教員が、研修参加者名簿作成後にやむを得ない事情で特別支援教育センター研修を欠席、遅刻、早退した場合、校長は、所定の変更願を、特別支援教育センター所長へ提出する。
- (4) 受講に際し合理的配慮の提供を必要とする場合は、事前に研修先へ必要としている旨の意思の表明（電話や電子メール等、本人が表明しやすい方法）を行うようにする。意思の表明後に、研修先と合理的配慮の内容や方法等について協議し、合意形成を図るようにする。

【表 1】

特別支援学校 2 年次教員フォローアップ研修の流れ



【表 2】

令和5年度特別支援学校2年次教員フォローアップ研修提出書類一覧

提出者	提出先	提出期限		提出部数	提出書類	提出様式
実施校 校長	特別支援教育センター所長	年度初	4月2日	1部	研修対象教員照会に対する回答	所定様式
			5月7日	1部	特別支援学校2年次教員フォローアップ研修研修計画書	様式1
				1部	特別支援学校2年次教員フォローアップ研修課題研究計画書	様式3
		年度末	2月14日	1部	特別支援学校2年次教員フォローアップ研修研修報告書	様式2
				1部	特別支援学校2年次教員フォローアップ研修課題研究報告書	様式4

Ⅲ 特別支援学校 2 年次教員フォローアップ研修 各種様式

(様式 1)

令和 6 年度 特別支援学校 2 年次教員フォローアップ研修 研修計画書

学 校 名 _____

校 長 名 _____ 公印

対象教員名 _____

1 校内研修（30 時間以上）

研修項目	月 日	研修時間	研修内容	指導助言者等
教員の資質向上 (1 時間以上)				
課 題 研 究 (24 時間以上)				
研 究 授 業 (5 時間以上)				
研修時間合計				

※指導助言者等について、未定の場合は空欄でよい。

2 校外研修（3 日）

研修項目	月 日	日 数	研修内容
社会奉仕等体験 研修（2 日）			
セン タ ー 研 修 （1 日）			

(様式2)

令和6年度 特別支援学校2年次教員フォローアップ研修 研修報告書

学 校 名 _____

校 長 名 _____

公印

対象教員名 _____

1 校内研修（30時間以上）

研修項目	月 日	研修時間	研修内容	指導助言者等
教員の資質向上 （1時間以上）				
課 題 研 究 （24時間以上）				
研 究 授 業 （5時間以上）				
研修時間合計				

2 校外研修（3日）

研修項目	月 日	日 数	研修内容
社会奉仕等体験 研修（2日）			
センター研修 （1日）			

(様式3)

令和6年度 課題研究計画書

学 校 名 _____

氏 名 _____

1 課題研究テーマ

2 研究テーマ設定の理由（研究の趣旨）

3 研究仮説「研究の見通し」

※子どもの課題ではなく、自分自身の課題解決について研究することに留意する（提出時にこのテキストボックスは削除する）。

4 研究計画

(1) 研究対象

(2) 研究日程

4 月	・課題研究計画書作成、提出	10 月	
5 月		11 月	
6 月		12 月	
7 月		1 月	
8 月		2 月	・課題研究報告書提出
9 月		3 月	

(様式4)

令和6年度 課題研究報告書

学 校 名 _____

氏 名 _____

1 課題研究テーマ

2 研究テーマ設定の理由（研究の趣旨）

3 研究仮説「研究の見通し」

4 研究計画

(1) 研究対象

(2) 研究日程

4 月	・課題研究計画書作成、提出	10 月	
5 月		11 月	
6 月		12 月	
7 月		1 月	
8 月		2 月	・課題研究報告書提出
9 月		3 月	

5 研究の実際と考察

6 研究のまとめ

(1) 研究の成果

(2) 今後の課題